

エコアクション21

環境活動レポート



レポートの対象期間：平成27年10月～平成28年9月

発行日 平成29年3月25日

株式会社松岡カッター製作所

1・環境方針

環境方針

〈基本理念〉

当社は、地球環境の保全が人類共通の課題であることを認識し、事業活動の面で環境保全に配慮し、行動します。

〈行動指針〉

- ①省エネルギー、省資源の推進により、二酸化炭素の排出量、水利用量の削減に努めます。
- ②リデュース(削減)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再利用)の
実践により廃棄物を抑制します。
- ③希少金属の再利用を目指し、環境に配慮した製品作りを推進します
- ④グリーン調達を推進します。
- ⑤全社員に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高めます。
- ⑥環境関連法令を順守します。

この環境方針ならびに取り組みは当社で働くすべてに周知するとともに、社外の求めに応じ公開します。

制定：2009年6月1日

改定：2014年10月1日(4回目)

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役 松岡克彦

2. 登録事業所の概要

(1) 事業所名および代表者名

株式会社松岡カッター製作所

代表取締役 松岡克彦

(2) 所在地

静岡県静岡市葵区古庄2丁目18番46号

(3) 環境管理責任者氏名

環境管理責任者 総務部次長 松岡慶子

電話: 054-261-1877

(4) 事業内容

金属製品製造業

(5) 事業の規模

製品出荷額 725百万円(平成28年9月末現在)

従業員数 70名

(6) 事業年度

平成27年10月～平成28年9月

(7) 適用範囲

静岡市葵区古庄2丁目18番46号

株式会社松岡カッター製作所事務所、工場とする。

3.実施体制(平成27年10月から平成28年9月)

代表者:代表取締役 松岡克彦	
役割:	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・資材(人材、資金、技術)の準備 ・システムの見直し、および全体評価

環境管理責任者:専務取締役 松岡慶子	
役割:	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの総責任者としての役割権限を持つ ・システムの実績を代表者に報告 ・環境マネジメントシステムの構築、実施、運用管理

環境委員会(委員長:山本真義)	
製造部4名、営業部1名、総務1名、設計1名、環境管理責任者で構成	
役割:	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の立案、計画の進捗状況の確認 ・文章の作成、管理、報告書の作成 ・運用上の事務管理 ・勉強会などの出席 ・月一度の会議の運営

製造部	営業部	総務・設計
朝比奈、小池、小和田、杉山	横打	松井、青木
<ul style="list-style-type: none"> ・工場内の環境 ・廃棄物管理 ・動力電気使用の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両のエネルギー管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気量、水道料、書類提出などの管理 ・各種資料の作成 ・グリーン購入推進

4.主な環境負荷の実績

項目	単位	61期	62期	63期	64期
		H24年10月 H25年9月	H25年10月 H26年9月	H26年10月 H27年9月	H27年10月 H28年9月
売上高	百万円	656.00	721.00	716.00	725.00
二酸化炭素排出量	kg-co2	331,915.00	378,846.00	404,250.00	401,977.00
	購入電力の排出 係数(中部電力)	0.516	0.513	0.497	0.486
	売上高あたり	505.97	525.45	564.59	554.45
購入電力	kwh	549,092.00	652,321.00	688,834.00	699,210.00
	kwh・100万円	837.03	904.74	962.06	964.43
ガソリン	L	26,310.37	24,667.70	22,239.68	21,594.99
	L/100万円	40.11	34.21	31.06	29.79
灯油	L	4,210.00	5,110.00	5,742.00	4,550.00
	L/100万円	6.42	7.09	8.02	6.28
都市ガス	M3	427.00	416.00	369.90	326.00
	M3/100万円	0.65	0.58	0.52	0.45
総排水量	M3	918	998	1023	1063
	M3/100万円	1.399	1.384	1.429	1.466
廃棄物排出量	t	18.7	14.79	17.29	25.5
	t/100万円	0.0285	0.0205	0.0241	0.0352
化学物質量	L	0	0	0	0
	L/100万円	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

5. 環境目標とその実績

項目	年度	第62期	第63期		第64期		第65期
		H25.10～ H26.9	H26.10～H27.9		H27.10～ H28.9		H28.10～ H29.9
			(目標) 1%削減	(実績)	(目標) 基準年度比	実績	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	319,637	316,441	323,751	313,244	339,816	330,000
	kg-CO2/百万円	443.32	438.89	452.17	434.46	468.71	436.51
				101.3%		103.7%	756百万円
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	57,270.01	56,697.31	51,632.90		50,136.00	51,000
	燃費			90.2%		97.1%	
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	378,846	375,058	404,250	371,269	401,977	400,000
一般廃棄物の削減	t	0.22	0.2178 99%	0.16 72.7%	0.2156 98%	0.21 131.3%	0.20
産業廃棄物の削減	t	14.79	14.64 99%	22.29 150.7%	14.49 98%	14.35 64.4%	15.00
節水	m3/年	998	988.02	1023	978.04	1063	1050
グリーン購入							
	円					144,683	10万円以上

6. 環境活動の取組計画と評価

目標1 二酸化炭素排出削減

●電力の削減

数値実績： エアコン、新設機械による節電効果より増設が上回った。

項目1： 工場設備の見直し(生産効率の向上)

計画	評価	活動結果と評価および課題
1. コンプレッサーの設置、配管見直し	×	<p>・第4工場は騒音問題が解決できていない。(継続中) 第1工場は機械移転に合わせる。</p> <p>点検表を作ったが、会議で確認していなかった。</p> <p>大体できていたが、パソコンを接続するタップなどついていた。</p> <p>15日はフィルターの清掃という活動は徹底された。</p> <p>担当を前の月に確認することで確実に行われた。不具合品の削減は別の項目にて策定。345.5kgだった。</p> <p>日報ではよくわからないのでISO取得に合わせて基準を再設定。</p> <p>※この項目は次年度へすべて継続とする</p>
2. コンプレッサーおよび配管からのエア漏れ、ロスがないか点検する	×	
3. 使用していない電動工具、機械等はOFFまたは電源を抜く	△	
4. 機械の空気吸入口および冷暖房機のフィルター等清掃を毎月15日実施	○	
5. 不良品の重量を計測	○	
6. 受入、出しの検査を行い不良をラインに入れない	×	

項目2： 冷暖房電力の低減

計画	評価	活動結果と評価および課題
1. 冷暖房の運転基準、温度を設定し実施する	○	<p>・第四工場での設定温度を小刻みに変えている。 第2工場にもエアコンが入ったが効率的に利用できていた。</p> <p>扇風機、ストーブ置き場を決めたら使用期日が一斉に統一された。 30度以上で28℃設定、正しいのか疑問ではあるが・・・</p>
2. 効率的な冷暖房の運用	○	

項目3： 照明器具

計画	評価	活動結果と評価および課題
1. 不要な電灯はOFFにする。特に帰りは必ず消す。	△	<p>とどろき工場で電気がついていることがあった。たれか最後なのかわからない 可能性はある。</p> <p>男性トイレは消し忘れが多い。</p>

●ガソリン使用量の削減

数値実績： ハイブリッド車の導入、公共交通機関の利用で効果がでているのか？

営業の人数が減ったことで減っている可能性もある。

項目1： エコドライブの推進

○毎週月曜日の確認が徹底された。

計画		活動結果と評価および課題
1. 月一回のタイヤの空気圧のチェック	○	・空気圧などを点検することで安全につながった
2. 毎月の燃費データを集める	○	・燃費の集計は徹底されていた
3. 車両点検と荷物の適正化	○	・商品を積みっぱなしにしないなど気を配った

目標2 廃棄物の削減

●廃棄物の最終処分量の削減

整理整頓実施による産業廃棄物の増加があった

計画		活動結果と評価および課題
1. 廃棄物の分別基準の作成	×	鉄の捨て方、回収できる金属だけは見直しはできたが、そこまで基準がたてられませんでした。
2. 分別基準の実施	×	捨て方に問題があった金属だけは担当部署にて方法を決め、会議後実施できました。
3. 廃棄物の収集	○	担当を決め、月次報告にすることで確実に集計されました。

目標3 リサイクルの推進

●社内リサイクル率の集計

計画		活動結果と評価および課題
1. コピー用紙の社内リサイクル率の集計	○	担当が毎月報告書に記載するようになりました。
2. 段ボールの社内リサイクル率の集計	○	集計は確実に報告されました。緩衝材が不足するという対応で箱を小さくして緩衝材を減らす試みが始まりました。
3. リサイクル金属の売却金額の見える化	○	鉄くず247266円、希少金属類1636736円でした。

目標4 油、液体の漏洩、流出の防止(第64期最重要項目)

●5S活動の推進による油漏れの防止と工場内の美化

計画		活動結果と評価および課題
1. 不要、不急品の放出と整頓		12月に第一工場の物置を整理し、ストーブ、扇風機の置き場を決めました。
①赤札の実施	○	使用していないもののがかなり出てきましたが、何がどこにあるか住所化し、わからないものを勝手に置けない環境にしました。
②工場内の徹底清掃	△	機械裏などでできていないところあり
2. 液体物の除去、および漏えいの防止		・床を改善したことで液体物の漏えい防止が進んできた
①常に漏えいのない状況にする	△	通路はほぼできましたが、第四工場で漏えいした際、漏えいする原因修理に時間がかかりしばらく床に液体がたまる状況がでました。
3. 機械整備の徹底による油漏れ防止		
①作業前点検	△	やっている機械とやっていない機械がある。点検表未確認でした。
②月次点検	△	やっている機械とやっていない機械がある。点検表未確認でした。
4. 工場内通路の策定		
①通路には絶対物をおかない	○	かなり徹底できてきた気がします。
5. 防火予防と対応策		
①避難口および消火器の表示	○	避難口、消火器の表示はありましたが、担当が変わっているところがあり。
②避難経路の再検討	○	原則道路に向かって避難ときめました。

目標5 水使用の削減

●水の使用量の削減

計画		活動結果と評価および課題
1. 節水の呼びかけ ①使用料の見える化	△	夏場になると使用料が増大している。機械の増設？原因が特定できていません。

目標6 環境教育

●環境教育を全スタッフに行う

計画		活動結果と評価および課題
1. エコアクションの理念、目標の発表	○	夏場の電力使用量の増大に敏感で、高周波など使用制限しました。
2. 緊急対応訓練	○	各工場の漏えい特性がだいたい把握できました。 それに合わせて訓練を行い、個々の工場での対応ができてます。 2月に実施(別紙参照)

目標7 環境対応製品

計画		活動結果と評価および課題
1. 新製品の開発	×	具体的な活動計画、設計コンセプトの発表もなかった。
2. 試作品の開発	×	展示会に向けて、計画を立てるようにしてほしい。

目標7 グリーン購入の推進

計画		活動結果と評価および課題
1. 購入品目の調査	○	環境会議での報告書に金額をいれ、委員に見える化できた。 今年度は143052円

総括

<p>1. 機械の増減、エアコンの設置など削減よりも増設が多く、省エネタイプの機械などに入れ替えてもその効果が見えにくい状況にあります。実数値を検証し、増加を小さくする工夫をすべきと思います。</p> <p>2. 廃棄物の問題点がだんだん明らかになりました。スプレー缶、シールピールなど廃棄が判断しにくいものがあるなど、管理基準をきちんと決めるために解決すべき個々の問題点を協議し、ルール作りをしました。</p> <p>3. 各委員の自覚とやるべきことがだんだんわかり、それぞれの分担をきちんと行えるようになっていきます。社内での認知度、重要度も理解されてきて、やっと全社単位での活動が身に付きました。</p> <p>4. 第一工場2階の片づけは大変効果がありました。これにより、各工場の棚、冷暖房機器の使用状況がすぐわかるようになりました。</p>

7. 次年度の取組内容

電気使用量の削減

電力による二酸化炭素排出量を330000kg-Co2にする。売上高100万円につき436.5

目標1.二酸化炭素排出削減

①工場設備の見直し(生産効率の向上)

- (1)コンプレッサーの配置、配管の再構(第一工場および第4工場)
- (2)コンプレッサーおよび配管からのエアリーク、ロスがないか点検票を作り、毎月15日に点検および結果を環境会議で報告。(継続)
- (3)使用していない電動後部、機械などはOFFまたは電源を抜く
- (4)機械の空気吸入口および冷暖房機のフィルター等を清掃を毎月15日に実施(継続) 毎月15日
- (5)フロン関連のエアコン、スポットクーラーの点検票の実施(フロン抑制法)
- (6)不良品の重量を計測
- (7)不適合品を報告し、正常ラインに入れない(加工別表示ISO取得に準ずる。)

②冷暖房電力の低減

- (1)冷暖房の運転基準順守(第1工場、第2工場も開始)
- (2)効率的な冷暖房の運用

③照明器具

- (1)不要な電灯はOFFにする。特に帰りは必ず消す。(タップを利用し電源を落とす)

④エコドライブの推進

- (1)月一回のタイヤの空気圧チェック
- (2)毎月の燃費データ集め 継続する
- (3)車両点検と荷物の適正化

目標2. 廃棄物の削減 第65期重点課題

①廃棄物の再資源化の推進

- (1)廃棄物の分別基準の作成
- (2)分別基準の実施
- (3)廃棄物の集計(担当を決め、集計)

目標3. リサイクルの推進

①社内リサイクル率の集計

- (1)コピー用紙の社内リサイクル化率を集計
- (2)段ボールの社内リサイクル率を集計
- (3)リサイクル金属の売却金額の見える化

目標4. 5S活動の推進による油漏れの予防と作業環境の改善

(第65期重点課題とする)

①不要、不急品の放出と整頓

- (1)赤札の実施(特に第3工場2階)
- (2)終業後の机の上、作業台、機械、作業場の清掃(始業時に清潔な状態から仕事を開始)

②液体物の除去、および漏えいの防止

③機械整備および清掃の徹底による油漏れ、不適合品の削減

- (1)作業前点検、月次点検表の実施
- (2)月次点検表の実施
- ④工場内通路の策定 (通路には絶対物をおかない)
- ⑤防火予防と対応策
 - (1)避難口および消火器の表示徹底
 - (2)避難経路の再検討

目標5. 水の使用量の削減

- ①節水の呼びかけ
 - (1)使用量のみえる化

目標6. 環境教育

- ①エコアクションの理念、目標発表
 - (1)目標、計画の周知徹底
- ②緊急対応訓練
 - (1)想定の設定
 - (2)訓練の実施

目標7. 環境に配慮した製品

- ①新製品の企画 (新しい環境対応製品を考える)
- ②試作品を開発

目標8. グリーン購入の推進

- ①購入品目の調査
 - (1)購入品目、および金額の見える化
(毎月の会議で発表)

8. 環境関連法規など遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

同事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果は以下の通りです。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約作成	契約書の締結	2016/9/30	○
	産廃保管場所の掲示板設置	60cm×60cm掲示板	2016/9/30	○
	マニフェストの管理	B、D票、E票の返却	2016/9/30	○
	マニフェストの返却期間	90日以内または180日以内	2016/9/30	○
	マニフェストの保管	5年間	2016/9/30	○
	マニフェストの年間交付状況報告	3月末の1年実績を6月末までに静岡市へ報告	2016/9/30	○
廃棄物処理現地確認	委託業者の処分状況確認	平成27年8月実施	2016/9/30	○
グリーン購入	環境物品の購入	事業者の一般責務	2016/9/30	○
自動車リサイクル法	取引業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	2016/9/30	○
騒音規制法	第5条 特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守 第6条の1 特定施設の届出	空気圧縮および送風機1台	2016/9/30	○
振動規制法	第5条 特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守 第6条の1 特定施設の届出	空気圧縮機15kw1台	2016/9/30	○
フロン類の使用の合理化および適正化に関する法律	簡易点検: 四半期に1回以上、定期点検: 7.5Kw以上50Kw未満は3年に1回以上、50Kw以上は1年に1回以上。	該当のエアコン12台・スポットクーラー	2016/9/30	○

環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反などの指摘は、過去3年間ありません。

環境に関する外部からの苦情、訴訟等もございませんでした。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

営業担当の出張時のガソリン使用料が思ったほど数値になっていない、新幹線+レンタカーのエコ出張を進めているが現実には製品サンプル持参などのアポイントの関係で直接出張のケースが多いためHV車等四つ星以上のエコカー導入をしても、これ以上の省エネガソリン使用は難しいかもしれない。

エコの意識は全社的に根付いており、様々な部分で顕著になっている。たとえば、年一回の社内アイデアコンクールの提案案件では、エコ、省力化の提案件数が増加している。

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役 松岡克彦